



くすい箱

発行

桐生厚生総合病院	薬剤部
発行責任者	河井 利恵子
編集担当者	高橋 朋子 大手 直樹

第65回目のテーマは“気管支喘息や慢性閉塞性肺疾患(COPD)における吸入薬の種類と使い方”についてです。

吸入薬とは

吸入薬とは、薬を口から吸い込むことで気管支や肺に作用し、主に気管支喘息や慢性閉塞性肺疾患(COPD)の治療薬として用いられます。吸入薬は直接気管支や肺に薬剤が届くため、内服薬に比べて必要量が少なく、全身性の副作用が起こる危険性も少ないという特徴があるため、治療には欠かせないものになっています。

吸入薬(吸入器)の種類

吸入薬を使用する際に必要になるのが吸入器です。薬によって吸入器の種類は様々なので、特徴や手技を理解し、正しく薬剤を吸入することが治療において重要になります。

加圧定量噴霧式吸入器

(特徴) 薬剤がガスと一緒に噴霧されるタイプの吸入器です。噴霧のタイミングに合わせ薬剤を吸入します。



インヘラー



エアゾール



エアロスフィア

☆当院採用: アドエア[®]エアゾール、オルベスコ[®]、サルタノール[®]、ビベスピ[®]、ビレーズトリ[®]、フルタイド[®]エアゾール、フルティフォーム[®]、メプチンエアー[®]

ドライパウダー吸入器

(特徴) 薬剤を自分で吸い込むタイプの吸入器です。



エリプタ



タービューヘイラー



ディスカス



ハンディヘラー



ブリーズヘラー

☆当院採用: アドエア[®]ディスカス、アニュイティ[®]、アノーロ[®]、ウルティプロ[®]、エナジア[®]、オンブレス[®]、セレベント[®]、シーブリ[®]、シムビコート[®]、スピリーバ吸入用カプセル[®]、テリルジー[®]、パルミコート[®]タービューヘイラー、フルタイド[®]ディスカス、レルベア[®]

ソフトミスト吸入器

(特徴) 薬剤を含んだ霧がゆっくり噴霧されるタイプの吸入器です。





☆当院採用: スピオルト[®]、スピリーバ[®]



レスピマット

吸入方法について

“①吸入の準備”や“③吸い込み”については各吸入薬によって違いがありますが、それ以外は共通する項目がほとんどです。しかし、吸入の準備や吸い込みを行うことに集中してしまい、そのほかの手技についてふと忘れてしまうことはありませんか？一度、吸入薬の使い方について、見直してみましょう。

① 吸入の準備	吸入器の種類によって異なりますので、各薬剤の説明書を確認してください	
② 息吐き	無理をしない程度に十分に息を吐き出します ※吸入口には息を吹きかけないで下さい	
③ 吸い込み (吸入)	深く息を吸い込んでください ※ただし、吸入器の種類によって異なりますので、各薬剤の説明書を確認してください	
④ 息止め	吸入口から口を離し、5秒間息を止めます	
⑤ 息吐き	息をゆっくり吐き出します ※吸入口には息を吹きかけないで下さい	
⑥ 後片付け	使用後はキャップを閉めます	
※もう一度吸入する場合は、①からもう一度繰り返します		
⑦ うがい	吸入後は、必ずうがい (ガラガラ・ブクブク)を各3回します	

吸入薬の使用に際して

吸入の手技を理解していても、手が動かしにくい、力が弱い等の理由から、上手く吸入薬が使用できない方も少なくありません。吸入薬にはメーカーが無償で配布している補助器具があります。



加圧定量噴霧式吸入器の補助器具



レスピマットの補助器具



タービューヘイラーの補助器具



各吸入器の特徴を理解し、自分に合った吸入薬を見つけることが大切です。
吸入薬が使いにくい、きちんと吸入できているか不安と感じる方は、主治医やかかりつけの薬局に相談しましょう。

<<参考資料>> 一般社団法人 群馬県病院薬剤師会 吸入薬の標準吸入手順

次回は、“骨粗鬆症とビタミンDについて”をテーマに2022年12月発行予定です。